

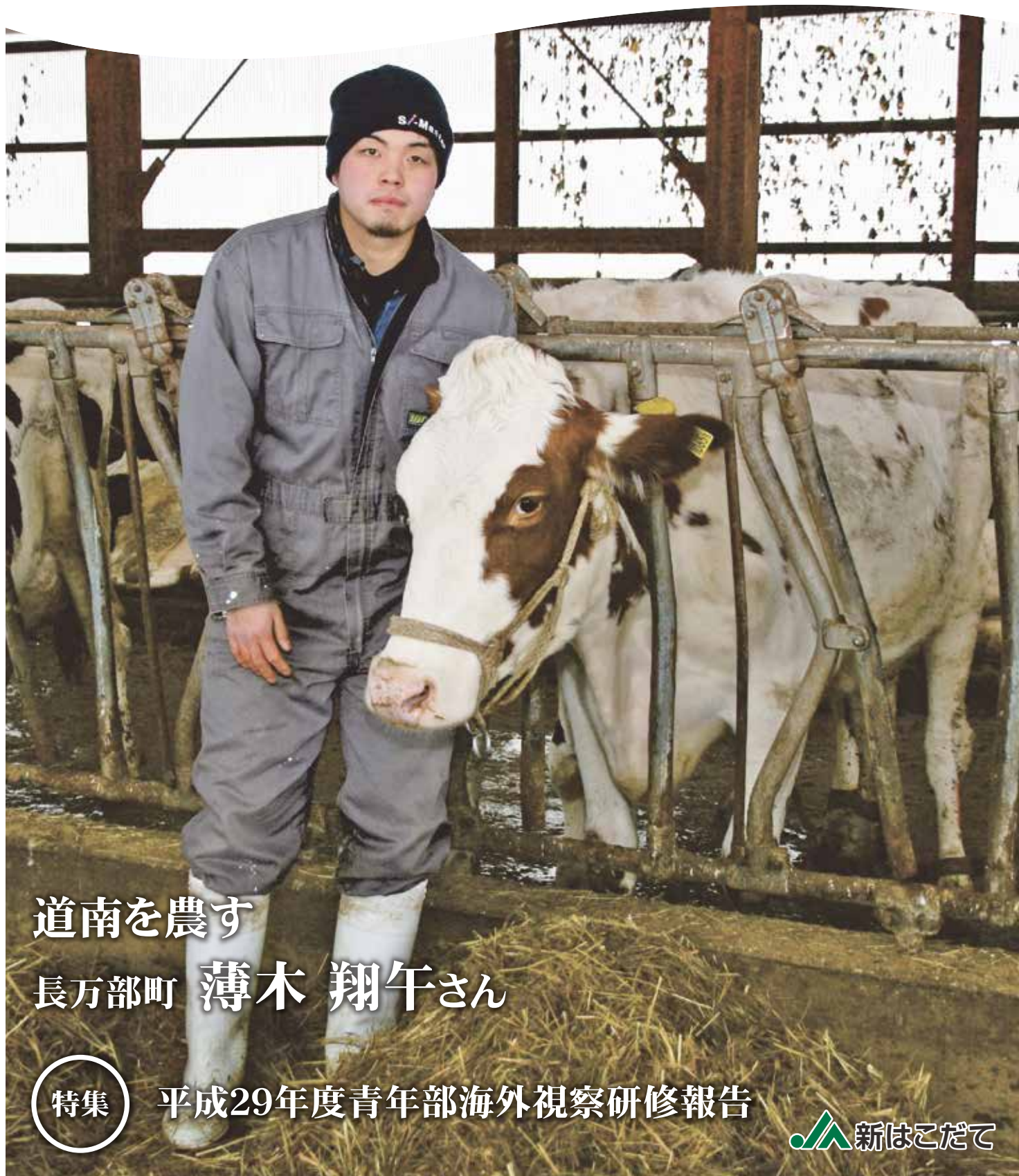
えすぽわーる

新函館

2

February 2018

No.
186



道南を農す

長万部町 薄木 翔午さん

特集

平成29年度青年部海外視察研修報告

- 2 道南を農す
長万部 薄木 翔午さん
- 4 特集
平成29年度
青年部海外視察研修報告
- 6 リーダーズボイス
青年部 北村 卓馬 副部長
- 7 となりの農家さん
厚沢部 山田 常雄さん
森 愛場 秀嗣さん
- 8 トピックス
七飯基幹支店地区青年部設立10周年記念式典
森地区青年部カップリングパーティー 他
- 11 JAグループ通信
- 12 インフォメーション
理事会報告等
- 13 みんなのまるめ郎広場
- 14 料理楽しくステップアップ!
ホウレンソウとジャガイモのチーズ焼き

イチオシの一品!



あっさぶの豆

ふっくらとした食感と独特の香ばしい風味が特徴の厚沢部特産「光黒大豆」を甘納豆にしました。素朴な甘さで、お子様からお年寄りまで幅広くお楽しみいただけます。

1袋 110g入り 430円
お問い合わせ／Aコープ厚沢部店
TEL: 0139-64-3104



餌を寄せて少しでも多く食べてもらい、乳量を増やすために空いた時間を利用して作業しているとのこと。「牛にあまりストレスが掛からないよう気を遣っています」と翔午さん。

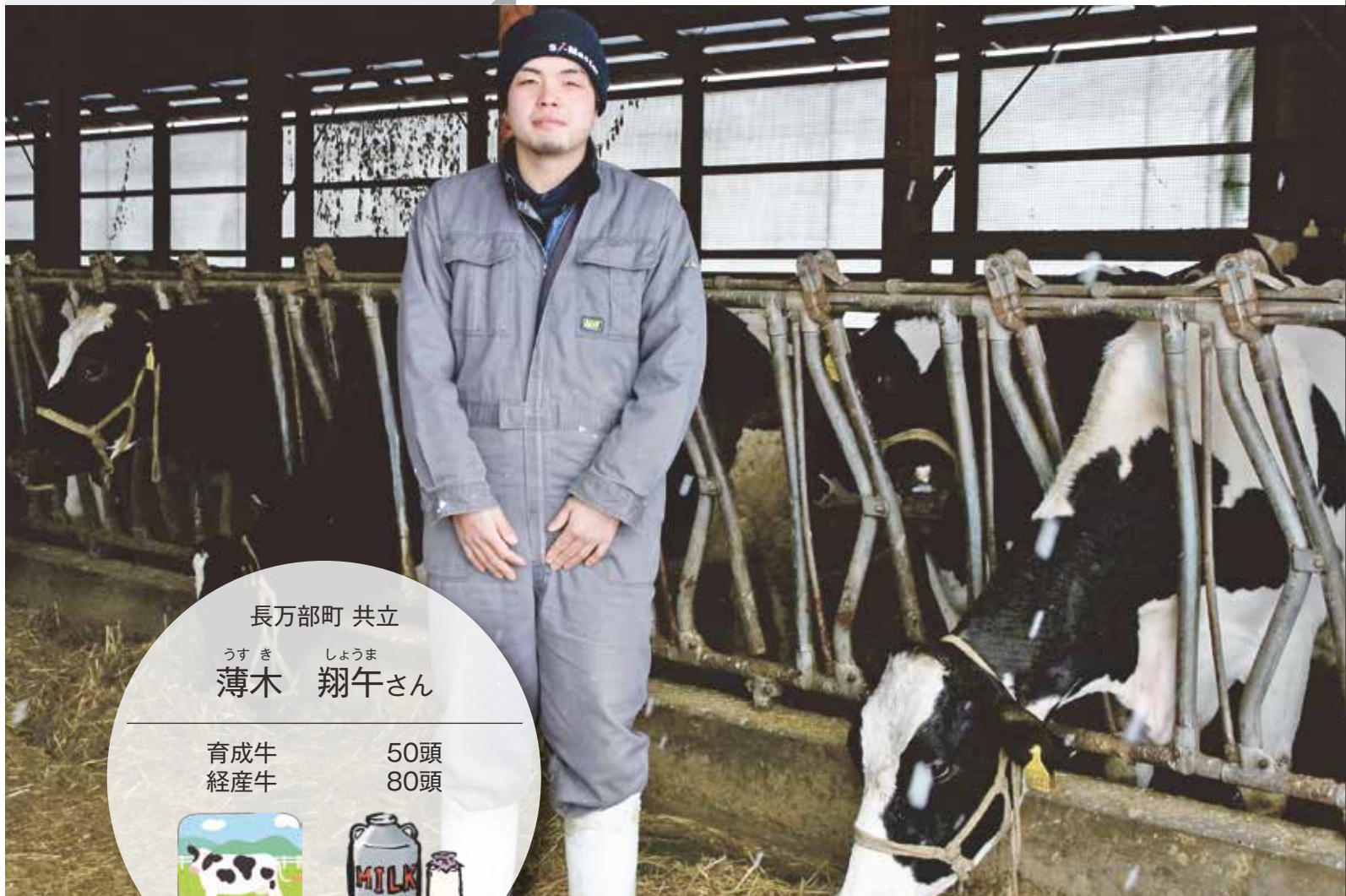


牧草は朝・晩2回与えており、その時に除ふんも一緒にやっている。作業をしながら餌を食べない牛がいなか体調を見るほか、発情のタイミングも確認しているとのこと。



初めてのソリ遊びを楽しむ希実ちゃん。最近では希実ちゃんが洗髪を嫌がるようになり、いろいろな人に子どもの洗髪方法を聞いている子煩悩な翔午さん。

「自分自身が働くことでお父さんとお母さんの負担を少しでも減らすことができるよう、これからも頑張っていきます」と話す翔午さん。



長万部町 共立

うす き しょうま
薄木 翔午さん

育成牛 50頭
経産牛 80頭



良質な牛の育成に向けて

日進月歩で成長する農業者

奥さんの実家へ就農し、日々奮闘

薄木翔午さんは就農するまで、森町の養豚場に勤務。奥さんの有希さんとお付き合いしている時に有希さんの実家で人を募集しているとの話があったことから、翔午さんが22歳の時に就農した。「動物も好きで、体を動かす仕事も好きなので、豚から牛に変わるだけという気持ちでした」と当時を振り返る。

最初の頃は、豚より大きい牛の扱いや以前の職場とは違い、休みがないことも大変だと感じていたとのこと。しかしながら、今では「自分達のペースで仕事もでき、豚よりも言うことも聞いてくれるので、牛のほうが可愛い」と語る。

現在は、有希さんの父の木村正行さんと母の明子さんの三人で分担して作業。有希さんも仕事が休みの日は手伝っている。

翔午さんの仕事が休みの日は長女の希実ちゃんと遊んだり、買い物に出かけるなど、家族と過ごす時間を大切にしている。

共進会で情報収集し、営農に活かす

現在、コスト削減も兼ねて近くの使わなくなった牛舎を借り、そこで育成牛の管理を任されている翔午さん。共進会などにも出場し、いろいろな牛を見て参考にし、そこで知り合った方々と話をしながら営農に役立つ情報を聞いている。さらに、今年は翔午さんが来てから初めて全道大会にも出場した。「共進会に出場して、そこで聞いた話を自分が管理している育成舎で試し、乳質・乳量の改善に活用させてもらっています」と話す。

今後については、適期刈取りにより良質な牧草を収穫し、牛の健康を維持して乳量をもっと増やしていきたいとのこと。さらには、「管理している育成舎の牛を良くして、自分が育てた牛で共進会に出場し、好成绩を残せるようにしたい」と意気込む。良質な牛の育成に向けて、これからも情報収集しながら、牛と向き合う日々は続く。



ドイツ(12月6～7日)

「ヘイネンホフ農場」にて



「スタウテンホフ農場」のベーカリー



⑥酪農専門農家「ヒールシャー農場」



チーズにロウをコーティングする工程

ホルスタイン種を飼育し、牛乳やチーズを初めとした乳製品を販売するほか、レストランや直売所経営にも力を入れている。乳牛は200頭飼育し、乳量は1頭当たり1日平均25L。餌はセンサー式で、量も自動調整されて提供。放牧スタイルで飼育し、夜間に外に出すこともある。



イタリア(12月8～9日)

「コルバリ農場」で圃場を視察



「イタリア食材専門店 イータリー」にて



⑨稲作農業法人「ロディギアーナ農場」



精米ライン視察の様子

100%イタリア米を生産し、品質や安全面で高い評価を受け、ブランド米としての地位を確立している。田植えは4～6月で、8月～9月に収穫。米の後作(緑肥的効果)として麦や牧草を作付しており、特に麦を作付した後の田んぼは米の生育にとって良い環境となっている。

⑤オーガニック農家「スタウテンホフ農場」



有機農法で栽培された野菜

20年前からオーガニック農法を導入し、小麦や馬鈴薯、穀物、豆類の他、養豚や養鶏も行っている。6次産業化も進んでおり、直売所やベーカリー、レストランも経営。ヨーロッパ基準の有機農法認証を受けていて、有機農法で作った野菜と慣行栽培では2倍の価格差となっている。

⑦冬小麦栽培農家「ヘイネンホフ農場」



説明を聴く参加者

畑作、直売、イベントの3つに力を入れており、小麦、ビート、菜の花、馬鈴薯、アスパラ、肉牛の複合経営。品目の価格に応じて作付面積も毎年変動させている。小麦の反収は850kg/反、ビートは8.7t/反。直売所は、良品質であることから一般消費者からの需要が多い。

⑧都市近郊型有機野菜農家「コルバリ農場」



苗栽培の様子

苗と野菜の栽培及び直売所運営が主な経営内容。苗だけで年間2,000万円の売上があり、大規模な農機は使用せず、定植も含めて手作業が多い。「自然農法」での栽培を売りにしており、本農場で栽培した有機野菜は、他の野菜と比較して約1.5倍の価格となっている。

⑩流通視察「イタリア食材専門店 イータリー」



オシャレに飾り付けられた店内

総面積17,000㎡の大型店舗で、イタリアの特産物が並ぶ。食材の全ては独自に高品質のものを買い付け、加工するなどして販売。店内は多種多様な商品が陳列されており、他のスーパーよりも割高であるが、嗜好品や健康を気にする消費者にとっては欠かせない場所となっている。

特集

平成29年度 青年部海外視察研修報告

次代を担う青年農業者の育成などを目的として平成29年12月2～11日の10日間でオランダ・ドイツ・イタリアの3カ国を視察し、先進諸国の農業情勢や農業技術を学んできた海外視察研修について、ご紹介します。

参加者

小原三弘(団長)、森優人、松橋健太郎、石本貴広、長内慶太、坂本剛一、宇野芳樹、築城正樹、平原俊哉、吉田知弘、加藤雄貴(事務局)

目的

- ①次代を担う青年農業者の育成を図り資質向上、研鑽を積む。
- ②先進諸国を実際に視察する事で世界の現状を直接感じ、地域農業に対する問題意識を醸成する。
- ③実践活動として経営改善、生活改善、更には、地域農業の振興発展に資する。
- ④海外の生産流通体制や食料の安全性確保・安定供給等の取り組みについて研修する。
- ⑤地域の垣根を超えた「仲間づくり」により連携力・情報共有の強化を図る。



オランダ(12月4～5日)

①協同組合「トマトワールド」



多種類のトマトが並ぶ試食コーナー

オランダの園芸施設や最先端のICT部門などを見学・体験できる施設で、合計面積1,500㎡の温室でトマト水耕栽培を行っている。栽培されている約80種類のトマトは形状や種類も様々で、水や光、栄養分、CO2量などは全てコンピュータにて管理されている。

②家族経営酪農家「ヘーヴェ・ウィッテ・スヒャープ農場」



視察の様子(中央左の白人がスヒャープ氏)

牛舎を臨月、経産など4つのグループに分けて管理し、搾乳のタイミングは牛が自主的に自動搾乳機に入ることで行われ、1日に2.5回搾乳。年間の搾乳量は1頭あたり約8,000Lで、飼料供給は100%自賄いで75%が牧草、25%がデントコーンの配合となっている。

③フローラ・ホランド花市場



オークション会場

世界最大の花市場であり、オランダの花の45%が本市場で取引されている。オークションはコンピュータシステムを活用したセリ下げ方式。花の種類や数量はバーコードで管理されている。オークションで落札してから受け取るまでの最大許容時間は2時間30分と決められている。

④現地若手農業者との交流昼食会



交流昼食会の様子

オランダにも青年部があり、地域レベルの活動と国全体レベルの活動がある。活動は勉強会や研修会が主で、交流や情報交換の場となっている。「農業をやりたい」という気のある若者なら誰でも入部できる。花嫁確保のため屋外パーティー(カップリング)を実施している。

スヒャープ農場で自動搾乳機を見る参加者



現地若手農業者のカルライン氏の農場にて



協同組合「トマトワールド」の収穫の様子

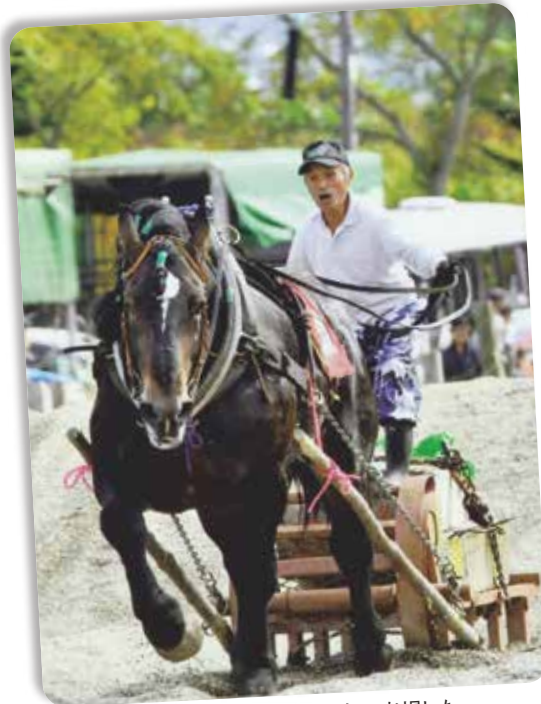


研修を通しての総括

3カ国を視察し、機械化による労働力不足解消や省力化、6次産業化、農業のPR体制など各国の先進事例は非常に参考になるものでした。また、見知らぬ土地で10日間を共に過ごした日々は、勉強という部分はもちろんのこと「仲間づくり」と

いう観点からも、かけがえのない経験になりました。

最後に、本視察研修を実施するに当たって、特段のご理解とご協力を頂いたJA役職員の方々には視察研修参加者一同、心から感謝申し上げますと共に、青年部員を中心に今回の視察内容を伝え、参考にさせて頂けるよう努めてまいりたいと思います。



▲昨年、北斗市のばん馬競技大会に出場した山田さんとアマモンドヤマト馬

江差町鯨川(つぐい)地区で農用馬の生産を営む山田常雄さんは、繁殖牝馬12頭、種雄馬2頭を飼育し、早朝から管理作業に追われる毎日。

春先には、繁殖牝馬の出産、種付けが行われ多忙な時期を迎える。山田さんは今後の目標について「自家用生産馬を帯広市で行われる『ばんえい競馬』のG1

〈取材 厚沢部支店 佐藤 洋輔〉

江差

畜産業を盛り上げる

きっかけに

山田 常雄さん(79) 農用馬の生産



となりの農家さん

～農家の現場へズームイン～

森町濁川地区の愛場秀嗣さんのハウスでは、1月末から地熱・温泉熱を利用して栽培されたキュウリの収穫が始まっており、7月まで収穫が続く。

今年の出来栄えについて「12月の定植期は天候に恵まれず生育は遅れ気味だったが、1月から天候も回復し、日照時間もあり平年並みに生育している。品質も

〈取材 森支店 石岡 努〉



▲ぎゅう/生産部会の部会長も務めている愛場さん

森

広域ブランドの

確立に向けて

愛場 秀嗣さん(49) キュウリ

連続インタビュー

リーダーのボイス

Leader's voice

地域のつながりが見直され、ますます重要になる昨今。地域を担う若きリーダーの皆さんに毎月インタビューします。

チャレンジ精神を持って 貪欲に挑む

J A新はこだて青年部/北渡島地区青年部所属

北村 卓馬 副部長 (34)

部員数:271人 設立:平成15年2月



●昨年度の青年部活動を振り返って、印象に残っている事業は。
6月と10月の2回実施した「JA本店部課長との意見交換会」です。JAをより良くしていくための各々の考えを聞くことができ、非常に有意義だったと感じました。この内容や熱意が、他JA職員や青年部員にも広まっていけば、JA事業も青年部活動も、より一層充実したものになると思います。

●青年部に加入して「変わった」と感じる点は。
青年部に加入する前は、JAの存在意義がよくわかっていませんでしたが、JA職員や部員と交流するようになってからは、JAと組合員が互いに協力し合うことの重要性を認識することができました。また、他品目の生産者との交流も自身のスキルアップに繋がっていると確信しています。



「JA本店部課長との意見交換会」では、効果的なPR方法や「儲かる農業」について熱く語り合いました!

●今後、青年部員に求めることは何ですか。
勉強会や研修などを通じて、いろいろな経験をして経験値を積み、これからの営農に役立てて欲しいと思います。他地区の部員の話や聞き取り、交流を深めることで視野が大きく広がるので、積極的に青年部事業に参加して、見識を深めて欲しいと感じています。

●北村副部長にとって青年部とはどんなところですか。
「力試しの場」だと思っています。自分は何ができて、何ができないかを再確認するとともに、自分に足りない部分を持っている部員がいたら、その部員を近くで見えて、話を聞くことができるからです。何事にもチャレンジしてみることが重要だと思っています!

〈取材 本店 営農課 加藤 雄貴〉



図画工作が得意で、友人の結婚式余興のために自作した「リアルこうちゃんマスク」は自信作です!
(左のマスクをつけた人物は、特別ゲストの木村卓也青年部長)

えすぽわーる TOPICS トピックス



管内各地の旬な情報をお届けします。



感謝状を贈られる歴代部長ら

設立10周年を祝う

JA新はこだて

七飯基幹支店地区青年部



七飯基幹支店地区青年部は12月1日、函館市の「マリエール函館」で設立10周年記念式典を開いた。

同青年部は平成19年、旧七飯地区と旧函館地区の両青年部が合併し誕生。

式典には部員やOB、来賓ら34人が出席。同青年部の吉野公部長は「10周年を迎えられたのは諸先輩方を始め、多くの方々からのご指導のお陰。今後、地域農業の発展と向上のため、丸となって活動を展開していきます」と式辞を述べた。

その他、式典内では歴代部長や事務局7人に感謝状と記念品を贈呈したほか、今までの10年の足跡を過去の活動内容や写真などとともに振り返った。



参加者全員による記念撮影

七飯



楽しく伝統食作りを学ぶ
農家の母ちゃんが教える
手作り体験教室

上磯支店女性部は12月3日、北斗市総合文化センター「かなでる」で「農家の母ちゃんが教える手作り体験教室」を開いた。体験教室には、地域住民ら24名が参加。伝統食の「くじらもち」と「太巻き」の二つのコースにそれぞれ分かれ、部員が講師役となつて、参加者らに「コツ」などを教えていた。

参加者らは、お互いの出来上がったものを見ながら、「上手だね」などと話をしながら楽しんで調理していた。



太巻きの作り方を教える落合部長

大野



各地区で意見・要望を聞く
組合員懇談会を開催

12月4～6日の3日間、北斗市や厚沢部、七飯、八雲町などJA管内の支店8箇所で開催された組合員懇談会を開いた。

懇談会では、JA側から平成29年度10月末農畜産物販売状況及び年度末見込み、賦課金見直しに係る取り組みなどを説明。参加した組合員からは、店舗の再編や賦課金の見直しなどさまざまな意見・要望が出された。

組合員の意見・要望などは今後、理事会でも協議し事業運営に反映していく。



知内地区組合員懇談会の様子

総務



盛り上がりを見せた「森ヨレ」の様子

森



3組のカップルが誕生
森地区青年部
カップリングパーティー

森地区青年部は12月16と17日の2日間、グリーンピア大沼で「もりまちファーマーズカップリングparty2017」を開いた。今年で6回目の開催で、男女合わせて23人が参加した。

1日目には、青年部員が普段作業している格好を披露する「森コレ」を実施。2日目には、全員で同町のご当地グルメである「森ライス」作りをした後、ホウレン草の収穫体験などを行い、最後のカップル結果の発表で3組のカップルが成立した。



試食をしながら審査する審査員

知内



工夫を凝らした料理など
多数出品
第7回知内生活工夫展

知内支店女性部は12月8日、第7回知内生活工夫展を知内町中央公民館で開いた。女性部員25人が参加。牛乳料理や漬物、保存食などの食品部門と手芸などのリフォーム部門のほか、その他地場産料理部門で計64点が出品。また、同町特産の「三料理部門」には24点が出品された。

審査は大野幸孝町長ら21人が行い、審査の結果、最高賞の町長賞は、同町特産の「三料理部門」に出品された「三つとひじきの照り焼きつくね」が選ばれた。



とまと部会反省会の様子

大野



2部会で過去最高の販売額
北斗市野菜生産出荷組合
4部会合同反省会

北斗市野菜生産出荷組合は12月5日、4部会合同での反省会を函館市内で開いた。ねぎ、きゅうり、とまと、ほうれんそうの4部会のうち、ねぎ、とまとの2部会では過去最高の販売額となった。

反省会では、4部会ともに今年の取扱実績と反省点などを確認したほか、来年度の生産方針などについて協議した。また、渡島農業改良普及センターから品種比較試験の結果報告や発生した病害虫及び生育状況などの説明もあった。



いついつ時に備えて
JA新はこだて七飯支店
防犯訓練

七飯基幹支店は12月6日、金融窓口で防犯訓練を行った。強盗犯に扮した警察官が登場する実践形式の訓練で、参加した職員らはいざという時に備えた。

訓練では強盗役が窓口にいる職員に向けて銃を突き付け、「金をだせ」などと脅すと、職員らは緊急時のマニュアルに従い、警察に通報される非常ボタンを押すなどの対応を素早く行った。強盗役が逃げた後には、駆け付けた警察官に犯人の特徴を思い出しながらかつていた。



緊急した中で行われた防犯訓練の様子

七飯



大野

商品の説明を聞く来場者



聞きたいことが何でも聞ける 大野基幹支店 生産資材EXPO

大野基幹支店の生産資材課は12月14日、北斗市の農業振興センターで生産資材EXPO（エクスポ）を開催した。

当日は、ネギやトマトなどの防除商品や肥料に関する説明、新資材、営農技術の紹介などが行われたほか、各メーカー11社が資材展示ブースを設け、商品に関する説明や来場者と意見交換などを行っていた。

来場者らは、資材商品の説明会の後、各メーカーのブースで商品の説明などを聞き、今後の営農に向けて情報交換をしていた。



米穀

参加者らに料理を振舞う生徒ら



アイデア溢れる料理が並ぶ 函館大妻高校「函館育ち ふっくらんご創作料理発表会」

函館大妻高校は12月12日、同校で「函館育ちふっくらんご創作料理発表会」を開いた。

生徒らは8班に分かれ、各班の代表者が今回考案した創作料理のこだわりや工夫した点について説明した後、参加者らが各班の料理をテーブルで試食しながら、見た目やおいしさなどを審査、採点した。

審査の結果、ご飯の上に酒蒸したブリが載り、暑いだし汁を掛けて食べる「ひつまわりぶり」が優勝を飾った。



渡島総合振興局に鏡餅寄贈 八雲町もち米生産部会

八雲町もち米生産部会は12月26日、今年の農作物の豊穰に感謝し、来年の豊作を願って渡島総合振興局に「風の子もち」で作った鏡餅を寄贈した。

二段重ねの鏡餅は直径35センチ、重さ約8キロ。小田原輝和振興局長は笑顔で受け取り、早速庁舎入り口に飾られた。

「風の子もち」は現在40戸が作付。永井和広部会長は「二時心配されたが、作柄は平年作を確保出来た。今後も消費拡大へ致団結して取り組みたい」と話した。



八雲

永井部会長(左)から鏡餅を贈られる小田原局長(右)

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しします。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

【食と農のイベントを初開催】

「北海道アグリ・フードプロジェクト」

「北海道アグリ・フードプロジェクト」が11月に札幌市で開催され、JAグループ北海道も企画主体となりブース出展やステージ企画を実施しました。



道内各地の農畜産物や加工品の試食・販売をはじめICT関連最新技術の紹介まで全道の出展者が集まり幅広いブースを展開。農業関係者や消費者の皆さん等、約8,000人も来場者が訪れ、農業の最先端技術に触れる場や、北海道農業の魅力発信の場としての大きな役割を果たすイベントとなりました。



JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として、今年で7回目となる「農業経営フォーラム」を開催しました。

（株）もち米の里ふっくらん特産館の堀江代表取締役は「創業からこれまでのあゆみ」を、NPO法人失敗学会の飯野副会長に失敗を成功のもととする『失敗学』をテーマに講演頂きました。参加者からは「大変勉強になった」「失敗から学ぶことの大切さを教わった」など好評を頂きました。



ホクレン

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では、生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材（飼料や農薬など）価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。

今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信して参りますので、ぜひ、お手持ちのスマートフォンやパソコン（<http://hokuren-news.jp/>）から登録してください。



登録はこちらから▶



JA共済連北海道

11月22日・23日に開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」で、オリジナルキャラクター『ひとのわぐま』の的あてゲームを実施し、多くの方に楽しんでいただきました。

地域貢献活動の紹介やキャンペーンチラシを景品と共に配布し、JA共済連北海道の活動を知っていただく機会となりました。今後もこのようなイベントを通し、JA共済の周知に取り組んでまいります。



JA北海道厚生連



JA家庭介護教室では、高齢化の進展に伴いさらに増加することが見込まれている認知症高齢者への支援として「認知症サポート100万人キャラバン運動」を展開し、認知症を正しく理解し支援する「認知症サポート」の養成や安心で安全な家庭介護実践のための正しい技術や知識が習得できる講義・実技演習を実施しました。安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みを継続して参ります。



みんなのまるめ即応広場



Q. 今月号のえすぽわーの中から答えを探してください!

北斗市の「〇〇〇〇〇」で行われた、上磯支店女性部の手作り体験教室。イベントにはベトナムからの外国人技能実習生4名も参加し、楽しんで太巻き作りを体験していました。(5文字です)



プレゼント

クイズの正解者の中から抽選で ③ 名様に、以下の ② 種類からお好きな商品を ③ 袋お送りします。希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン
(1袋2食入り)

あっさぶの豆
(1袋110g入り)



※今月から2種類となっております

あて先

クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室 FAX:0138-77-5566
✉ E-mailアドレス akinatori.nakata@ja-shinhakodate.com

テロ対策にご協力お願い致します 肥料・農薬等の保管管理の徹底を!!

農業に必要な肥料や農薬等が爆発物製造の材料として盗難被害に遭う危険性もあることから、これらの保管管理の徹底を呼びかけております。

肥料等を購入して自宅に届きましたら、次のことに注意し、盗難被害の防止に努めて下さい。

- 1 屋外(田畑付近等)に野積みしない
- 2 鍵のかかる倉庫などに保管する
- 3 盗難に遭ったら直ちに警察へ通報する

北海道警察では、官民一体となった「テロの未然防止」に向け、JA新はこだてをはじめとする「テロ対策パートナーシップ協議会」と連携を密にし各種対策を講じています。

函館中央警察署

0138-54-0110

見事なはしご乗りを披露!!



1月7日(日)、七飯町役場駐車場にて平成30年度七飯消防出初式が行われ、七飯支店の菊地俊平職員が見事なはしご乗りを披露しました。菊地職員は平成28年に七飯消防第一分団に入団。今回の出初式に向けては約4ヶ月前から練習をして臨みました。菊地職員は2020年に行われる北海道消防操法訓練大会にも出場予定となっており、これからの活躍も期待されます。

理事会開催報告

第13回理事会議案(定例)

●日時/平成29年12月25日(月)14時00分 ●場所/花びしホテル

報告事項

- (1) 北海道による農業協同組合法第94条第4項の規定に基づき検査結果について
- (2) 消費税軽減策特別措置法に係る調査結果と対応について
- (3) 第三四半期定期監査結果について
- (4) 第三四半期内部監査結果について
- (5) 理事者への貸付実行の報告について
- (6) 理事者への貸付実行の報告について
- (7) 顧客属性照会システムにおける定期確認結果について
- (8) 反社会的勢力排除対応管理先対応方針の策定について
- (9) 組合員の異動について
- (10) 第7回ALM委員会の開催について
- (11) 平成29年度収支見込(JA新はこだて11月末現在)について
- (12) 平成29年度収支見込(概新はこだて協同11月末現在)について
- (13) 平成28年度経営定期点検実施報告について
- (14) 平成28年度木古内地区農業基盤整備資金及び担い手育成農地集積資金の借入について
- (15) 平成29年度経営所得安定対策「畑作物の直接支払交付金(数量払)」に係る仮渡金実施要綱の変更について
- (16) 新野菜広域流通施設(仮称)建設に係る進捗状況について
- (17) 現金事務効率化機器「OTM」のリース取得について
- (18) 組合員懇談会の意見集約について

議案

- 第1号 役員報酬審議委員の補欠選任について
- 第2号 平成29年度決算棚卸及び棚卸抽出検査の実施について
- 第3号 自己査定マニュアルの一部変更について
- 第4号 担保評価マニュアルの一部変更について
- 第5号 乙部支店の廃止及び今後の業務対応について
- 第6号 第三四半期定期監査に対する回答について
- 第7号 理事者に対する平成30年度組合員勘定供給限度額等及び物品取引契約の限度額について
- 第8号 理事者に対する組合員勘定供給限度額変更に係る包括事前承認について
- 第9号 (根) 抵当権一部抹消の承認について
- 第10号 理事者への貸付について
- 第11号 金融機関への貸付について
- 第12号 固定資産(土地)の処分について
- 第13号 平成30年度役員報酬額の諮問について

理事会開催報告

第14回理事会議案(定例)

●日時/平成30年1月26日(金)10時30分 ●場所/北斗市農業振興センター

報告事項

- (1) 組合員の異動について
- (2) 理事者への貸付実行の報告について
- (3) 委員会の開催について
- (4) 平成29年度収支見込(概新はこだて協同12月末現在)について
- (5) 平成29年度収支見込(JA新はこだて12月末現在)について
- (6) 自給飼料生産性向上対策支援事業実績について
- (7) 乳用牛・肉用牛各種延払制度の廃止について
- (8) 生乳増産奨励対策事業実績について
- (9) 平成29年度購買品取扱奨励金の支払について
- (10) 固定資産(土地)の処分(結果)について
- (11) 平成29年度通常総代会までの主要スケジュールについて

議案

- 第1号 北海道による農業協同組合法第94条第4項の規定に基づく検査に対する回答について
- 第2号 平成30年度内部監査計画(案)について
- 第3号 平成29年度回収不能債権に係る貸倒償却及び利息減免について
- 第4号 平成30年度金融機関貸付方針(案)について
- 第5号 金融機関への貸付について
- 第6号 地方公共団体に対する貸付に係る事前承認について
- 第7号 平成30年度余剰金運用(案)について
- 第8号 平成30年度余剰金預け先金融機関について
- 第9号 平成30年度余剰金運用計画額および運用方針(案)について
- 第10号 平成30年度役員報酬額の決定について
- 第11号 理事者に対する共済・貯金担保貸付に係る包括事前承認について
- 第12号 区域役員推薦委員の補欠選任について
- 第13号 Fintech企業等との連携及び協働に係る方針の決定について
- 第14号 平成30年度事業計画基本方針(案)について
- 第15号 平成30年度事業計画(取扱・収支)(案)について
- 第16号 平成30年度事業計画(固定資産取得・処分)(案)について
- 第17号 減損会計に係るグルーピング方針の決定について
- 第18号 資産の償却・引当基準の一部変更について
- 第19号 平成30年度営業販売・購買事業における料金・料率の設定(案)について
- 第20号 生乳受託販売規程の一部変更について

第20回 道南農業新技術発表会

道南農業試験場などが開発した農業技術等を、いち早く皆様にお伝えします。

日時 平成30年2月20日(火) 13:00~16:00

場所 北斗市農業振興センター

北斗市東前74番地の2 TEL:0138-77-7667

- 内容 ●無加温ハウスを利用した冬野菜の栽培 ●単為結果性トマトの栽培特性と果実評価
●ブロッコリーのリン酸減肥 ●渡島農業改良普及センターの活動報告 ほか

お問い合わせ先

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

農業研究本部

道南農業試験場

TEL0138-77-8116





料理楽しく ステップアップ



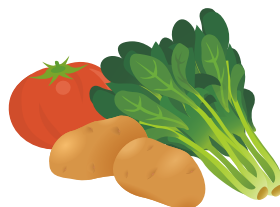
「キッチン晴人」のオーナーシェフ
永井 智一（ながい ともかず）

「キッチン晴人」のオーナーシェフ。
1975年茨城県水戸市生まれ。高校卒業後、都内のすし店で修業後、帰郷し懐石料理を学ぶ。2013年12月に畑とつながるをコンセプトとした「キッチン晴人」をオープンし、地元農産物を生かした料理を提供中！

ホウレンソウとジャガイモの チーズ焼き

作 り 方

- (1) フライパンにバターを入れ、ゆでて半分に切ったジャガイモ、ホウレンソウを入れ、塩・こしょうをして炒める。
- (2) グラタン皿にバターを塗り、(1)とカットしたトマトを並べ、生クリームとマヨネーズを合わせてソースを作り回し掛ける。
- (3) パルメザンチーズを振り、200度のオーブンで8分焼き、お好みでパセリ(材料外)を散らす。



point

ジャガイモはしっかり炒める。ホウレンソウは炒めた後、1束にまとめて載せる。マヨネーズの量はお好みでどうぞ。

材 料(4人分)

ジャガイモ	2個
ホウレンソウ	1/2束
トマト	1/2個
バター	適宜
生クリーム	3/4カップ
マヨネーズ	大さじ2
塩・こしょう	適宜
パルメザンチーズ	適宜

編集後記

今月号のトピックスで掲載している大妻高校の「函館育ちびっくりんこ創作料理発表会」の取材に行きましたが、学生の皆さんのアイデア溢れる料理とその完成度の高さに感動しました。校長先生の挨拶の中では、包丁を握るのも初めての学生もいたとのこと、わずか8ヶ月ほどでここまでできるようになるとは驚きです。

8品とも食べる人を考えて食べやすい工夫などもされており、全ての料理を美味しく頂いてきました。

(明)

facebookページ更新中！

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。



JA新はこだて facebook

検索



まるめ郎アルバム

題名:マルメロード第61章
Day:2017.12.14



「生産資材EXPO」に行ってきました！
アシストスーツで運搬作業も楽チンだね！

緊急時の ご連絡先

※業務時間内
(平日9時～17時)には
ご契約の支店に
ご連絡ください。



お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
(JA共済事故受付センター)

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
(JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター)

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
(JA共済サポートセンター)

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
(三菱UFJニコス株式会社盗難紛失受付センター)

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。